

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231-2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

世帯と人口

(8月1日現在)

世帯	42,769	(+9)
人口	117,155人	(-24)
男	60,096人	(-20)
女	57,059人	(-4)

広報 えびな



最新の機材を使った救助作業の実演 (左上写真上から複合センサー・人力エネルギー抽出機・負荷応応型ジャッキ)

尊い命救うために

21世紀へ前進する海老名⑨

今日は「防災の日」。76年前の大正12年9月1日に発生した関東大震災を教訓に、災害について認識を深めるために設けられました。過去の体験をもとに、万一地震などの災害が発生したときには、被害が広がらないように、すみやかな救助活動などが必要になります。今回は、下今泉にある神奈川県立産業技術総合研究所が、企業や大学と共同で進めている「災害時の救援技術高度化に関する研究」を紹介します。

簡単な操作で災害時に対応

阪神・淡路大震災では、65000人もの尊い命が失われました。家具や倒壊した建物などの下敷きになった方も相当数に上るといわれています。上の写真は、タンスや柱の下敷きになっている人を探し、救助する作業のデモンストレーションです。写真左側の棒状のものを持っている人は「複合センサー」による探索をしています。これは、生き埋め状態になっている人の体からかすかに出される熱(体温)や炭酸ガス(呼吸)を感知し、小型カメラからの映像とマイクでとらえた音声とを合わせて総合的に探索するものです。実際の倒壊現場は、複雑で狭いすき間などの探索となることが多いため、人間が入ることは難しく、非常に危険な場合もあります。そこで、すき間にも対応できるようにセンサーを細長い形状にし、構造も頑丈にしてあります。さらに、操作も簡単にし、電源も乾電池を使用するなど、災害発生直後の混乱した状況下でもスムーズに使用するように工夫されています。また、発見した生存者を救助するためにはがれきなどをどける必要があります。写真右奥の人の足には「人力エネルギー抽出機」が装着されています。これは、足踏み動作を繰り返すことによって、効率よく人力エネルギーを空圧として取り出します。そして、このエネルギーを利用して、内部構造を改良し非常に小さい力で動作する「負荷応応型ジャッキ(写真右手前)を動作させ、生き埋め者を救出する空間を確保します。

阪神・淡路大震災でも、車載用ジャッキなど身近な道具が救助の役に立ちました。産業技術総合研究所では、そのような実情を踏まえ、誰でもすぐに使える効果的な機器を目指して開発を続けています。

地震は、現在もその発生時期の確定は難しく、必ず避けられるというものではありません。みなさんも災害発生に対し備えは万全か、防災の日である今日を機会にもう一度身の回りの点検をしてみたいかがでしょうか。

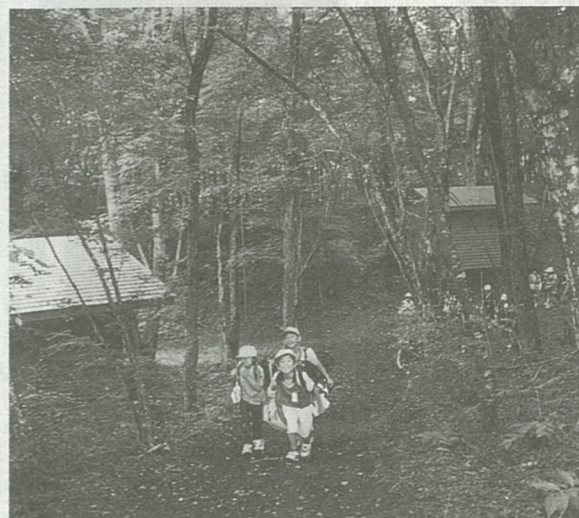
地球温暖化やオゾン層破壊など、環境問題が地球規模化している今、自然環境に負担をかけない社会づくりが急務となっています。そのためには、行政、住民、事業者が一体となって、環境にやさしいまちづくりに取り組む必要があります。

今回は、その取り組みの1つとして、国内で初めて、海老名市で実験を始めることになった「エコ・パークアンドライド」の概要や、「環境基本計画」に先立って提出された提言書の内容などをお知らせします。

自然を次代へ

限りある自

環境基本計画



大自然の中でその大切さを学ぶ。(野外教育施設・富士ふれあいの森で)

エコ・パークアンドライド 全国に先駆け実験開始

市では、神奈川県と共同で、エコ・パークアンドライドシステムの検討を進めています。このたび、建設省の社会実験実施地域に選定され、全国に先駆け、海老名駅を中心として、このシステムの試験を行うことが決まりました。

この実験は、低公害車を市民と企業が共有して、環境に優しい新しいシステムを創り出そうという取り組みです。

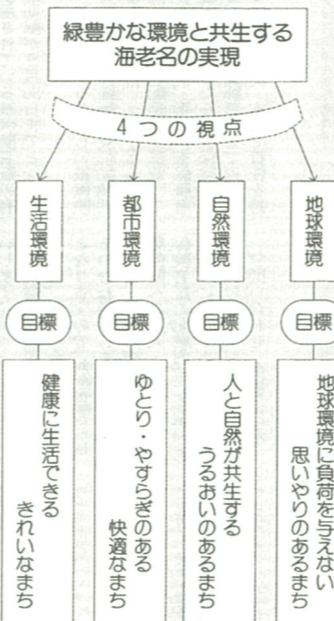
3月策定に向け準備を進めています

去年3月30日に、環境基本条例が公布されました。この条例は、私たちが、良好な環境の中で暮らす権利があり、また、その環境がかけがえのないものであることを知って、将来の世代に引き継いでいかなければならないということ、そして、緑豊かな環境と共生する海老名を実現していくために、市・市民・事業者はそれぞれ責任があるということが明文化されています。

この条例に基づいて、「環境基本計画」が策定されます。現在その準備が進められていて、今年7月14日には、同計画策定懇話会(竹内清座長ほか委員14人)がまとめた提言書が、市長に提出されました。市は、この提言をもとに、環境施策を進める指針となる、同計画の原案を、来年3月までにまとめる予定です。

提言の主な内容は、次のとおりです。

▽問い合わせ 環境保全課(内531)



事業者	市民	市
<ul style="list-style-type: none"> 市が実施する環境の保全および創造の施策に積極的に参加し、協力すること 事業活動に伴う環境への負荷は、市民の日常生活に伴う負荷に比べて、積極的に環境への負荷の低減に努めること 市や市民が行う環境保全活動などに積極的に参加し、協力すること 	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりが、自らが環境に負荷を与えていることを認識し、ライフスタイルをその負荷より少ないスタイルに変革していくこと 市が実施する環境の保全および創造の施策に積極的に参加し、協力すること 事業活動に伴う環境への負荷は、市民の日常生活に伴う負荷に比べて、積極的に環境への負荷の低減に努めること 	<ul style="list-style-type: none"> 環境の保全および創造についての総合的な施策を策定し、これを計画的に推進すること 市も事業者であることを十分に認識し、日常の行政活動においても環境への負荷の低減に努めること 市民、事業者の自発的活動の促進のための情報を適切に提供するように努めること 環境の状況などに関する調査および研究に努めること 市民、事業者の自発的活動に対し、活動内容のPRや活動場所の提供など、その充実強化のための支援に努めること

環境フォーラム

母乳は赤ちゃんに飲ませて大丈夫なのかな。プラスチック食器は使ってもよいのか。オゾン層破壊、地球温暖化…。人類の未来はどうなるのでしょうか。

市では、これら私たちがとりまく環境問題についてみなさんと一緒に考えようと、高木義之さんを講師に迎えて、環境フォーラムを開催します。ぜひご参加ください。



～高木義之さんプロフィール～

10月4日(月)文化会館で開催

「美しい地球を子どもたちに」と、さまざまな提言を続けています。グリーンコンシューマーのためのネットワーク「地球村」代表。著書は「地球村宣言」など多数。確かなデータに基づいたわかりやすい講演には定評。

美しい地球を子どもたちに

身近なところから

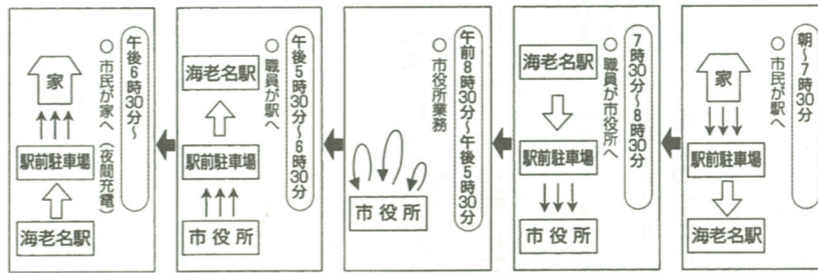
資源の有効活用・地球温暖化防止

フリーマーケット 10月31日(日)



出店者募集します

フリーマーケット実行委員会では、10月31日(日)に開催するフリーマーケットの出店者を募集します。限りある資源の有効活用を進めるため、また、地球温暖化防止のため、ご家族・友達同士で、ぜひご参加ください。



エコ・パークアンドライド 実験イメージ

●エコ・パークアンドライドシステムとは
エコ・パークアンドライドシステムとは、企業や自治体、市民と低公害車を共有して、朝の通勤時間帯は市民が通勤用(自宅から駅まで)として使い、日中は企業などが業務用で利用するというものです。

これは、全国で初めての試みです。今年度は、市が公用車として業務に使用し、通勤利用については、市民からモニターを募集する予定です。

●期待される効果
このシステムの効果として

- ①公共交通機関への乗り継ぎを進めることによる道路混雑の緩和
- ②排気ガスなど環境への悪影響の軽減
- ③車を共有することによる駅周辺の土地の有効活用
- ④低公害車の普及などが期待されています。

●実験の概要
▽期間 12月ごろから3か月程度
▽車両数 15台(電気自動車予定)
▽使用駐車場 海老名中央公園地下駐車場(車両の受け渡し)
▽モニター数 10人程度
▽実施主体 海老名市、神奈川県
※実験内容などの検討は、エコ・パークアンドライド研究委員会(委員長・横浜国立大学教授・中村文彦氏)が行っています。

●10月にモニター公募
この実験は、来年度には、周辺市や企業にも参加を呼びかけて、本格実施に向け、拡大していく予定です。

なお、10月ごろの広報えびなで、実験モニターを募集する予定です。みなさんのご理解と、積極的な参加をお願いします。

▽問い合わせ 都市計画課(内531)

みなさんの家には、まだ使えるのに不用品として眠っている品物はありますか。海老名市

生涯学習講座 I

「旅」を通して 人生を見つめ直してみませんか

旅は、人生の旅、行楽の旅、仕事での旅、山の旅、歴史回顧の旅など、さまざまなスタイルがあります。また、その受け止め方も人によって異なります。

今回の生涯学習講座は、県内をくまなく歩きつづけている作家・小林伸男さんを講師に、「旅」を考えます。この機会に、自分の人生を見つめ直してみませんか。なお、最終回は箱根旧街道を約6歩、小さな旅を予定しています。



▽日時 10月29日、16・30日の各土曜日、午前10時～正午(30日は箱根散策のため1日の日程となります)
▽会場 市役所助会議室
▽対象・定員 市内在住の方30人(応募者多数の場合は抽選)

▽講師 小林伸男氏(作家・季刊誌「神奈川YOU」編集長)
▽受講料 無料(ただし、最終回の交通費などは個人負担)
▽申し込み 9月14日(火)までに電話または直接生涯学習課(内531)へ。

10日は全国下水道促進デー

いろいろなコンクールにご応募を

今日10日は「全国下水道促進デー」です。県内の下水道普及率は、平成10年度末で88.9%、市は89.4%となっています。下水道は、住みよまらづくりと、河川・海などの公共用水域の水質汚濁を防ぐために、欠かすことのできない公共施設です。市街化区域内の普及率100%に向けて一層の整備促進が急がれています。

(社)日本下水道協会では、みなさんの下水道に対する一層のご理解・協力をお願いしようと、「下水道いろいろコンクール」を実施します。奮って応募ください。【左表参照】

▽応募締め切り 11月12日(金) 必着
▽応募先 下水道業務課(市で取りまとめて、協会へ提出します)
▽発表 平成12年3月1日(予定)。入賞者には、直接通知します。
▽問い合わせ 同課(内531)。

●下水道いろいろコンクール応募要領●

部門	資格	応募規定	応募方法
図画(ポスター)	小・中学生	・テーマは、下水道に関するものであれば、自由です。 ・大きさは、B4～A2判 ・ポスターには「9月10日全国下水道促進デー」の文字を入れてください	・作品の裏面に、学校名・学年・氏名を明記。一括応募の場合は連絡先を明記してください
作文	小・中学生	・テーマは、下水道に関するものであれば、自由です ・400字詰め原稿用紙(縦書き)に書いてください ・小学生:600以上1600字以内 ・中学生:1600以上2000字以内 ・原稿は、自筆のものに限ります	・作品に、題名・学校名・学年・氏名を明記。一括応募の場合は連絡先を明記してください
書道	小学生(低学年1～3年) 高学年(4～6年)	・課題 低学年は「げすいどう」 高学年は「下水道の促進」 ・半紙(縦32・7寸×横24・3寸)を縦長に使用してください	・作品の左端に、学校名・学年・氏名を墨書き ・作品の下端中央に、縦10寸×横20寸の半紙を張って、学校名・学年・氏名・住所・電話番号を明記してください。一括応募の場合は、連絡先を明記してください
標語	制限なし	・官製はがき1枚につき1作品 ・1人何点でも応募できます ・学校(学年・学級)単位で応募する場合も、はがき大の大きさの用紙に1人1作品を記入してください ・連名での応募はできません	・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記してください

【注】○応募作品は、返却しません。
○入賞作品の放映、使用権、著作権は、(社)日本下水道協会に帰属します。

児童手当の申請お早めに

児童手当(国民年金加入者)
児童手当(国民年金加入者)
児童手当(国民年金加入者)
児童手当(国民年金加入者)

平成11年度所得制限限度額表
児童手当の所得制限限度額表

児童手当の申請お早めに
児童手当の申請お早めに

市内全域で道路測量

市内全域で道路測量
市内全域で道路測量
市内全域で道路測量

危険物取扱者試験と受験準備講習会

危険物取扱者試験と受験準備講習会
危険物取扱者試験と受験準備講習会

10月1日から「国民健康保険証」新しくなります

10月1日から「国民健康保険証」新しくなります
10月1日から「国民健康保険証」新しくなります

「神奈川県土砂の適正処理に関する条例」

「神奈川県土砂の適正処理に関する条例」
「神奈川県土砂の適正処理に関する条例」

10月1日から「海老名市」

10月1日から「海老名市」
10月1日から「海老名市」

ボランテア養成講座

ボランテア養成講座
ボランテア養成講座

アレルギー社会に警鐘を鳴らす

アレルギー社会に警鐘を鳴らす
アレルギー社会に警鐘を鳴らす

「ちよとま」たき過ぎ清潔志向

「ちよとま」たき過ぎ清潔志向
「ちよとま」たき過ぎ清潔志向

10月使用開始分の住民票・原簿自転車駐車場

10月使用開始分の住民票・原簿自転車駐車場
10月使用開始分の住民票・原簿自転車駐車場

介護保険シリーズ②

介護保険シリーズ②
介護保険シリーズ②

「誰が保険料を納めるの?」

「誰が保険料を納めるの?」
「誰が保険料を納めるの?」

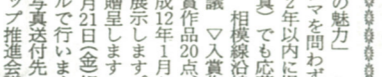
相模線沿線魅力アップ

相模線沿線魅力アップ
相模線沿線魅力アップ

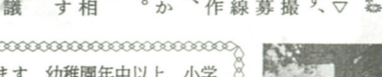
一般開放・学校プールの忘れ物

一般開放・学校プールの忘れ物
一般開放・学校プールの忘れ物

海老名駅周辺



かしわ台駅周辺



市議会9月定例会日程

市議会9月定例会日程
市議会9月定例会日程

有馬図書館定例映画会

有馬図書館定例映画会
有馬図書館定例映画会

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

音訳(朗読録音)入門講座

音訳(朗読録音)入門講座
音訳(朗読録音)入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

ボランテア入門講座

ボランテア入門講座
ボランテア入門講座

文化会館「レイガイ」

文化会館「レイガイ」
文化会館「レイガイ」

風しん予防接種

風しん予防接種
風しん予防接種

循環器教室

循環器教室
循環器教室

みんなの伝言板

みんなの伝言板
みんなの伝言板

えびな蓼科荘 空室状況

Table showing room availability for Ebina Asakura荘 from 9/1 to 9/30.

空室状況の補足説明
空室状況の補足説明

市長への手紙

市長への手紙
市長への手紙

「みなさん」の掲載

「みなさん」の掲載
「みなさん」の掲載

10月使用開始分の住民票・原簿自転車駐車場
10月使用開始分の住民票・原簿自転車駐車場

一般開放・学校プールの忘れ物
一般開放・学校プールの忘れ物

海老名駅周辺
かしわ台駅周辺

みんなの伝言板
みんなの伝言板

文化会館「レイガイ」
文化会館「レイガイ」

風しん予防接種
循環器教室



望地、岡本文男・和美さんの長男=1歳1カ月



門沢橋、大澤英和・由美さんの長男=1歳



中央、北秀之・留美さんの長女=1歳



大谷、西山貴・直子さんの2男=1歳



浜田町、澤田英之・真理さんの長女=1歳1カ月



中央、山下高徳・道子さんの2女=1歳2カ月



河原口、羽倉信昭・圭子さんの長女=1歳



中新田、飯島康利・みかさんの長女=1歳1カ月

澤田 佳歩ちゃん

山下 愛音ちゃん

羽倉 理沙ちゃん

飯島 弘子ちゃん

まんまる赤ちゃん

このコーナーに掲載を希望する方は... 電話で広報広聴課(内271)に申し込んで下さい。ただし、申し込み時点で1歳未満の赤ちゃんに限ります。なお、申込数が多く掲載できない場合もあります。



▲はがき作りでワープロ学ぼう

8月上旬に行われた高齢者教養講座は、初心者を対象としたワープロ教室。はがき作りに挑戦しながら、次第に操作がスムーズになる参加者の姿には、真剣に取り組む楽しさが感じられました。

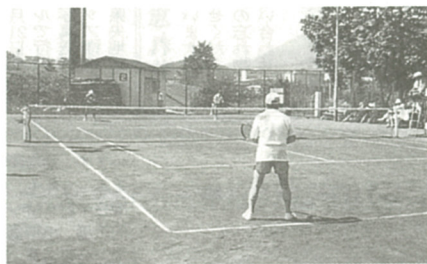
フオイトピックス



▲夏休みは親子でいい汗

夏休みの5日間総合体育館で開催された親子体操教室に、22組47人が参加。暑さにも負けず、のびのびと体を動かし絆を深める親子の姿が見られました。

▲姉妹都市とテニスで交流
今年で5回目を迎えたソフトテニス親善交流大会は、7月24日から2日間白石市で行われ、5対3で白石チームの勝ち。参加した16人の選手は健闘をたたえ合いながら、「次は海老名で開催しよう」と誓っていました。



▲竹刀を交えて国際親善
8月8日、征道館岩尾道場(杉久保)の創立20周年記念剣道大会が総合体育館で行われ、日本、アメリカ、韓国、台湾の108チームが互いの剣技を競い交流を深めました。

楽しい仲間

日本クラブユースサッカー選手権大会に出場したフットワーククラブ



(左から)山本さん、古川さん、山崎さん、松村さん、コーチの木内さん

Jリーグユース相手に大健闘

8月に福島県のJヴィレッジで行われた、第23回日本クラブユースサッカー選手権大会に出場した「フットワーククラブ」。このユースチーム(18歳以下で編成)には、4人の市内在住の高校生が在籍し、全国レベルの大会を経験してきました。同クラブは、全力を尽くしてサッカーに取り組みむことをモットーに昭和61年に結成。小学生から社会人まで約250人が在籍し、主に寒川町で練習しているクラブチームで、今回の大会をはじめ、県や関東地区の代表として数多くの大会に出場しています。そのレギュラーの4人とは、山本雄一さん(東柏ヶ谷・向上高校2年)、古川雄介さん(上今泉・横浜商大高校2年)、山崎圭太さん(河原口・向上高校3年)、松村亮介さん(杉久保・厚木西高校3年)、そしてヘッドコーチは木内雅章さん(大谷中学校勤務)。

1分だけで惜しくも決勝リーグ進出は逃しましたが、Jリーグユースチームを相手に大健闘の成績を収めました。4人に今回の大会の感想を聞くと、「Jリーグのユースチーム相手が良い経験になった」(山本さん・MFで出場)。「1人1人の個人技はかなわないけど、総合力ではひけをとらないと思いました。来年は練習してもっとよい成績をあげたい」(古川さん・FWで出場)。「最初はJリーグチームと聞いて、腰が引ける感じでしたが、試合をしてみてもレベルの違いは、それほど感じませんでした」(山崎さん・MFで出場)。「試合前は、強豪のイメージがなかなかないと思っていましたが、思ったより試合がしやすかった」(松村さん・DFで出場)。

強豪相手と互角に戦い、自信をつけたフットワーククラブ。更なる飛躍をめざし突き進んでほしい。

編集後記

幸い私は、家が倒壊するような大地震には遭ってはいませんが、自分の子どもが小さいときもあり、いざというときの対応を妻と話し合いました。安全に避難すること、必要な食糧等を確保しておくことなど...災害に備えておくことは、心構えも含め大切ですね。(文)